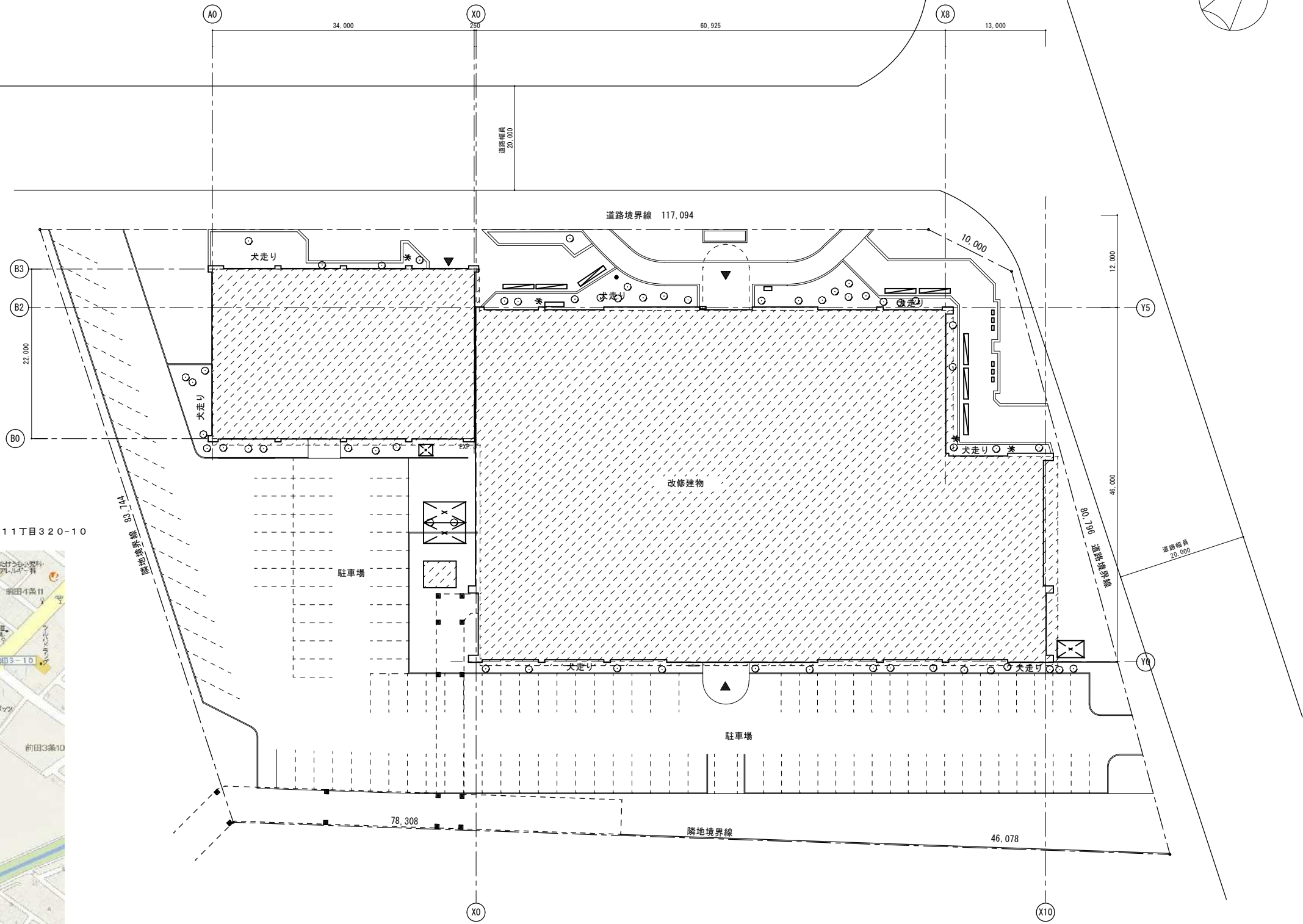
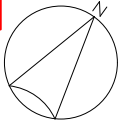


外壁打診調査範囲 手稲区役所__手稲区民センター__手稲保健センター

調査範囲：磁器質タイル面
調査面積：約2,010㎡

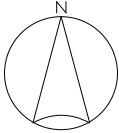


配置図 1/300

BP	自転車置場
○	高木 松
＊	低木 低木



案内図



建物概要

構造

建築面積

延床面積

最高高さ

鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

3, 897.02 m2

9, 479.81 m2

14.85 m

改修概要

屋上

既存保護層撤去後、アスファルト防水かぶせ工法（AS-T3及びASI-T1）により改修を行う。

立上りについては塗膜防水及び、アスファルト露出防水又は、改質アスファルトシートにより改修を行う。

外壁

タイル仕上げの劣化部は撤去・新設を行い、コンクリート変性ポリエステル塗仕上げ部はひび割れ補修後各面を防水形複層塗材により改修を行う。

建具

外部建具廻りのシールの打替を行う。一部建具の（撤去・新設）を行う。

内装

階段の手すりを新設する。漏水部の天井仕上げ材の張替えを行う。

外部共通仕上表

部 位

改修前

改修後

大走り

客土＋緑岩

既存のまま

壁・柱・梁

磁器質タイル 227×60 目地：ラスタータイル 227×60（一部撤去）
コンクリート打放しの上変性ポリエステル塗（一部地下調整）

磁器質タイル 227×60 目地：ラスタータイル 227×60（一部張替）
コンクリート打放しの上防水型複層塗材E(一部塗替)

底（1）・（2）

鉄骨下地（下地処理）
底下：ステンレスt=2.0加工HL仕上（取外し）

鉄骨下地サビ止め塗（塗替）
底下：ステンレスt=2.0加工HL仕上（再取付）

階数

部 位

区 分

平 面

立上り

笠木・水切り

ドレン・脱気筒

備 考

屋上

ルーフ1

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）砂利敷き t 30 （撤去）
（一部アスファルト防水+FP板 t 50+ t 50+砂利敷き t 30 （撤去））
（一部アスファルト防水+FP板 t 30+ t 50+改質アスファルト防水（既存のまま）+砂利敷き t 30 （撤去））

コンクリート（既存のまま）+アスファルト露出防水（撤去）

アルミ笠木 W225・250（取外し）・ステンレス笠木W430（既存のまま）
アルミ笠木 W1, 100（シール撤去）
アルミ水切り W70 （撤去）

二重ドレン（撤去）

冷却塔基礎a・b・c アスファルト防水立上り（既存のまま）防水押え金物（撤去）
キュービクル基礎a・b・c アスファルト防水立上り（既存のまま）防水押え金物（撤去）
煙突基礎 コンクリート部（部分補修）アスファルト防水立上り（既存のまま）防水押え金物（撤去）

ルーフ2
ルーフ3
ルーフ4

改修後

改質アスファルトシート断熱防水（かぶせトーチ工法）（新設）
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上改質アスファルトシート防水（新設）

アルミ笠木 W225・250（再取付）
アルミ笠木 W1, 100（シール打替）
アルミ水切り W70 （新設）

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

冷却塔基礎a・b・c 塗膜防水立上り（新設）防水押え金物（新設）
キュービクル基礎a・b・c塗膜防水立上り（新設）防水押え金物（新設）
煙突基礎 コンクリート部塗膜防水（塗替）塗膜防水立上り（新設）防水押え金物（新設）

ルーフ5
DSルーフ
階段E
塔 屋ルーフ

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 （撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト露出防水（撤去）

アルミ笠木 W250（取外し）
アルミ笠木 W1, 100（シール撤去）
アルミ水切り W70 （撤去）

二重ドレン（撤去）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

アルミ笠木 W225・250（再取付）

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

3階

保健所ルーフ

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 （撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト露出防水（撤去）

アルミ笠木 W225・250・300・450（取外し）
柱型笠木（取外し）
アルミ水切り W70 （撤去）

二重ドレン（撤去）

太陽光基礎 アスファルト系塗膜防水立上り（既存のまま）
救助袋コンクリート基礎（既存のまま）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

アルミ笠木 W225・250・300・450（再取付）
柱型笠木（再取付）
アルミ水切り W70 （新設）

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

太陽光基礎 アスファルト系塗膜防水立上り（新設）
救助袋コンクリート基礎（既存のまま）アスファルト系塗膜防水（新設）救助袋緩衝材 t 6（新設）

区役所ルーフ

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 +白玉砂利敷 t 30（撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト防水（既存のまま）
保護コンクリート（既存のまま）

アルミ笠木 W375・350（既存のまま）
アルミ水切り W70 （既存のまま）
柱型笠木（既存のまま）

二重ドレン（撤去）

アンテナ支柱フッ素樹脂塗装（下地処理）
救助袋コンクリート基礎（既存のまま）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上アスファルト系塗膜防水（新設）

—
—
—

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

アンテナ支柱DP（塗替）
救助袋コンクリート基礎（既存のまま）アスファルト系塗膜防水（新設）救助袋緩衝材 t 6（新設）
防雪屋根（新設）

ルーフ1
ルーフ2

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 +白玉砂利敷 t 30（撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト防水（既存のまま）
保護コンクリート（既存のまま）

アルミ笠木 W515（既存のまま）
アルミ水切り W70 （既存のまま）

二重ドレン（撤去）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上アスファルト系塗膜防水（新設）

—
—

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

テラス1
テラス2

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 +白玉砂利敷 t 30（撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト防水（既存のまま）
保護コンクリート（既存のまま）
（一部磁器質タイル撤去）

アルミ手すり笠木 W350（既存のまま）
アルミ水切り W105（既存のまま）

二重ドレン（撤去）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上アスファルト系塗膜防水（新設）

—
—

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

2階

光庭

既 存

コンクリートの上アスファルト防水
+コンクリート50+50（既存のまま）+ミカゲ石 t 20貼（撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト防水（既存のまま）
保護コンクリート（既存のまま）
（一部磁器質タイル撤去）

—

二重ドレン（撤去）

改修後

既存コンクリートの上モルタル t 25
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上アスファルト系塗膜防水（新設）

—

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

バルコニー1
バルコニー2

既 存

コンクリートの上アスファルト防水
+コンクリート50+50（既存のまま）+ミカゲ石 t 20貼（撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト防水（既存のまま）
保護コンクリート（既存のまま）
（一部磁器質タイル撤去）

ステンレス笠木 W515（既存のまま）
アルミ水切り W70 （既存のまま）

二重ドレン（撤去）

改修後

既存コンクリートの上モルタル t 25
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上アスファルト系塗膜防水（新設）

—
—

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

給排気塔
ルーフ

既 存

コンクリートの上アスファルト防水（下地補修）
砂利敷き t 30 （撤去）

コンクリート（既存のまま）+アスファルト露出防水（撤去）

アルミ手すり笠木 W300・225（取外し）

二重ドレン（撤去）

改修後

改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

既存コンクリート樹脂モルタル補修の上
改質アスファルトシート防水（かぶせトーチ工法）（新設）

アルミ手すり笠木 W300・225（再取付）

改修用鉛製二重ドレン（新設）
脱気筒（新設）

1階

車庫横
スロープ

既 存

コンクリートの上ノンスリップゴムタイル

磁器質タイル H75

コンクリート打放し

—

—

改修後

—

—

—

—

栴円樹脂手摺 Φ42×30（新設）

特記事項

1. シールはポリサルファイド（PS-2）撤去後、変性シリコーン（MS-2）の打替とし、W×D×Lは図面による。
2. 防水押え、サッシ廻りに使用されている油性コーキング材及び、ブチルゴム系シーリング材についてはアスベスト含有試験を実施し含有されている場合は適切に撤去、処理すること。
3. アルミ笠木の厚みは t 2.0とする。
4. 笠木の取外し・再取付の際笠木の下地金物のビスはステンレス製ビスに交換すること。
5. 既存コンクリートの樹脂モルタル補修は平面及び立上り共合計面積の30%見込むこと。
6. 防水の仕上塗料については断熱防水部は高反射断熱アクリル系エマルジョンとしその他はアクリル系エマルジョンとする。
7. 既存砂利敷きは全てカチオン押えとする。
9. 新設防水の脱気装置は70m2に1個程度とする。

防水仕様凡例
A-1 アスファルト防水+砂利敷き t 30 +（白玉砂利敷 t 30）（立上りキャント有り）
AI-1 アスファルト防水+FP板 t 50+ t 50+砂利敷き t 30（立上りキャント有り）
D-1 アスファルト露出防水（絶縁）（立上りキャント無し）
AS-T3 改質アスファルトシート防水（絶縁）（立上りキャント無し）
ASI-T1 改質アスファルトシート断熱防水（絶縁）（立上りキャント無し）
アスファルト系塗膜防水 改質アスファルト系塗膜防水（立上りキャント無し）

株式会社 北海道緑企画

管理建築士 一級建築士（大臣） 第116384号 浅野 重夫

印

・

・

工事名称

手稲区役所・区民センターほか外部改修工事

設計年月

H 2 6 / 3

図面名称

外部仕上表

編尺

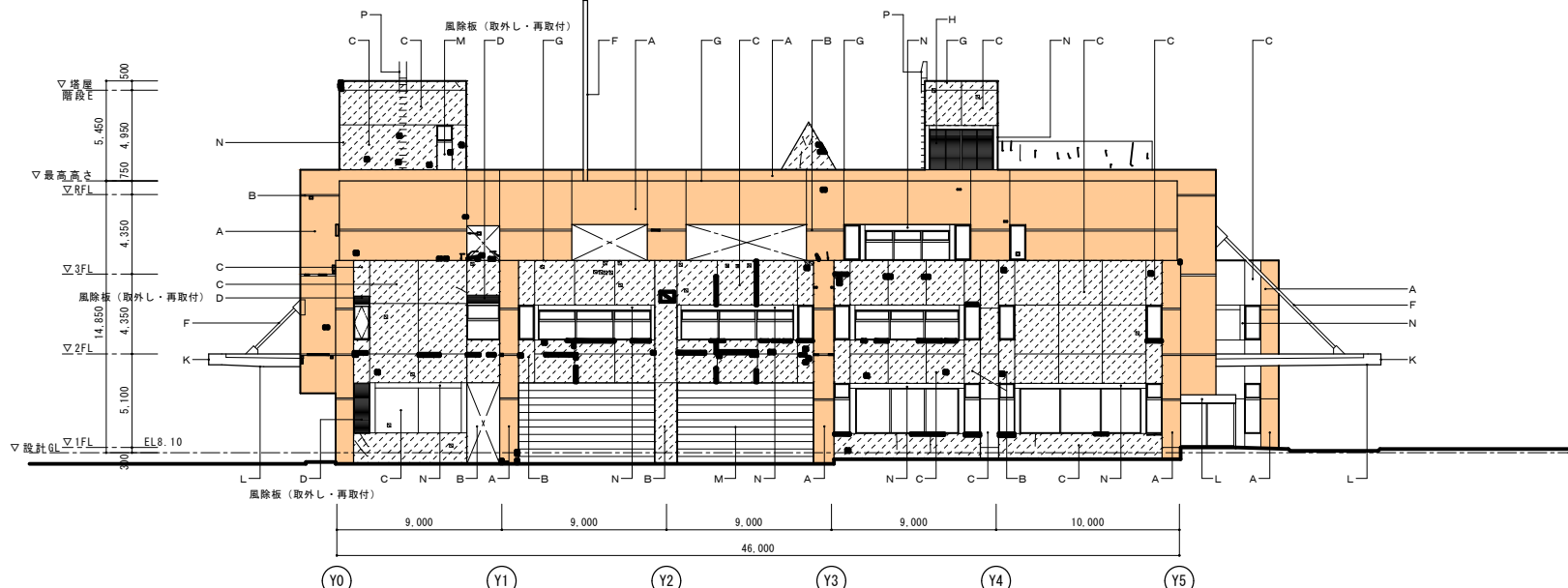
A1：NON

図面番号

A- 003



北立面図 1/200



東立面図 1/200

凡 例		
	外壁塗替（ケレン掛け・水洗い・下地補修・防水型複層塗材E）範囲を示す。	
	外壁塗替（ケレン掛け・水洗い・下地補修・トップコートのみ）範囲を示す。 27.80m ²	
	外壁（タイル面）水洗い範囲を示す。	
A：磁器質タイル貼（一部目地部タイル ラスター）		
B：コンクリート打放し仕上 変性ポリエステル塗装目地		
C：コンクリート打放し仕上 変性ポリエステル塗装		
D：アルミパネル電解着色		
F：スチール フッ素樹脂塗装		
G：アルミ笠木 電解着色		
H：アルミガラリ 電解着色		
I：熱線吸収ガラス		
J：熱線反射ガラス		
K：ミカゲ石貼（赤御影石）		
L：ステンレス HL 仕上		
M：スチールパネル 焼付塗装		
N：ステンレス 2B 仕上		
O：カラスステンレス 仕上		
P：ステンレスタラップ		
Q：銘名字		

※外壁の 部分は磁器質タイル貼を示す。

- 特記事項
- 1、工事前に再度外壁劣化調査を実施すること。
 - 2、光庭等とは、3階ルーフ1・2、3階テラス1・2、2階バルコニー1、壁上化粧梁とし、ひび割れ図は各展開図に示す。
 - 3、風除板は全て（取外し・再取付）とする。
 - 4、既存ラスタータイル部分は改修後は、汎用品タイルとする。

外壁劣化部改修数量表			
凡 例	劣化種別	改 修 方 法	数 量
コンクリート打放し	塗装下地ひび割れ0.2～0.5mm未満	18°砂樹脂低圧注入工法（低粘度形18°砂樹脂）	133.70 m
	既存ひび割れ補修部	Uカットシーリング工法（1液常温硬化型可とう性エポキシ樹脂70.70 m	
	欠損部 100×100	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	99.00 ヶ所
	欠損部 100×200	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	29.00 ヶ所
	欠損部 100×500	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	1.00 ヶ所
	詰めモルタル剥離部 100×100	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	166.00 ヶ所
	詰めモルタル剥離部 100×200	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	132.00 ヶ所
	詰めモルタル剥離部 100×500	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	199.00 ヶ所
	モルタル剥離部 1500×2600	アンカーピンニング m2/16本 4Φ×50 金ネジステンレス 2mm	
防水立上り	防水下地ひび割れ0.2～1.0mm未満	シーリング工法	50.70 m
	亀裂部補修	シーリング工法	3.00 m
	欠損部 100×100	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	2.00 ヶ所
	欠損部 100×200	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	4.00 ヶ所
	欠損部 100×500	周囲ハゲ出 エポキシ樹脂モルタル金37仕上	8.00 ヶ所
	詰めモルタル剥離部 100×100	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	23.00 ヶ所
	詰めモルタル剥離部 100×200	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	30.00 ヶ所
磁器質タイル	詰めモルタル剥離部 100×500	周囲ハゲ出 防水モルタル金37仕上	25.00 ヶ所
磁器質タイル	外壁ヨコ目地部分モルタル浮き部	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入	42.00 m
	磁器質タイル（平面）	タイル撤去・新設	4.10 m ²
	磁器質タイル（曲げ）	タイル撤去・新設	2.31 m
	磁器質タイル（平面）	部分エポキシ樹脂注入	1,518 ヶ所
磁器質タイル			



凡 例	
	外壁塗替（ケレン掛け・水洗い・下地補修・防水型複層塗材E）範囲を示す。
	外壁塗替（ケレン掛け・水洗い・下地補修・トップコートのみ）範囲を示す。 27.80m ²
	外壁（タイル面）水洗い範囲を示す。
A	磁器質タイル貼（一部目地部タイル ラスター）
B	コンクリート打放し仕上 変性ポリエステル塗装目地
C	コンクリート打放し仕上 変性ポリエステル塗装
D	アルミパネル電解着色
F	スチール フッ素樹脂塗装
G	アルミ珪木 電解着色
H	アルミガラリ 電解着色
I	熱線吸収ガラス
J	熱線反射ガラス
K	ミカゲ石貼（赤御影石）
L	ステンレス HL 仕上
M	スチールパネル 焼付塗装
N	ステンレス 28 仕上
O	カラスステンレス 仕上
P	ステンレスタラップ
Q	館名文字
R	コンクリート打放し仕上、磁器質タイル貼取り合い
※外壁の 部分は磁器質タイル貼を示す。	
B：コンクリート打放し仕上 変性ポリエステル塗装目地 （外壁ヨコ目地部分シール打替詳細図 1/10）	
 ラスタータイル標準曲 既存モルタル塗 部浮き補修：アンカーピンニング 下地補修：G-1 ラスタータイル標準曲 シール：146m 下地補修：659m アンカーピンニング：42m/5本 4φ×50 全ネジステンレスピン	
N：ステンレス 28 仕上 （鉄骨筋リシール打替詳細図 1/10） 断面図 平面図 シール：479m	
G：アルミ珪木 電解着色 （シール打替詳細図 1/10） 断面図 平面図 シール：140m	
R：コンクリート打放し仕上、磁器質タイル貼取り合い （シール打替詳細図 1/10） 断面図 平面図 シール：362m	